



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

電線を地中化して 電柱を撤去します

地元の声

- ・高崎市と邑楽町を結ぶ幹線道路。災害時も通れるようにしてほしい。(地元住民)
- ・狭い歩道のなかに電柱があるため、歩きづらい。(地元住民)

事業前

- ◆ 電柱が歩行者の通行を阻害し、歩きにくい状況です。
- ◆ 災害時に電柱が倒壊し、道路を寸断するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 道路上の電柱が無くなり、歩行者や自転車の安全な通行空間が確保されます。
- ◆ 災害時の安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：大泉町東小泉
- 事業内容：電線共同溝整備 延長 1,800m
- 事業期間：令和元年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は東小泉駅入口交差点部の本体工事と北側の本体工事を一部実施します。



事業のすすみ具合

